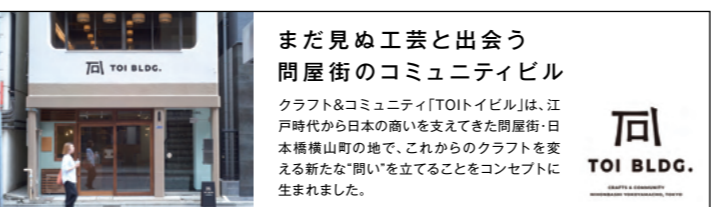
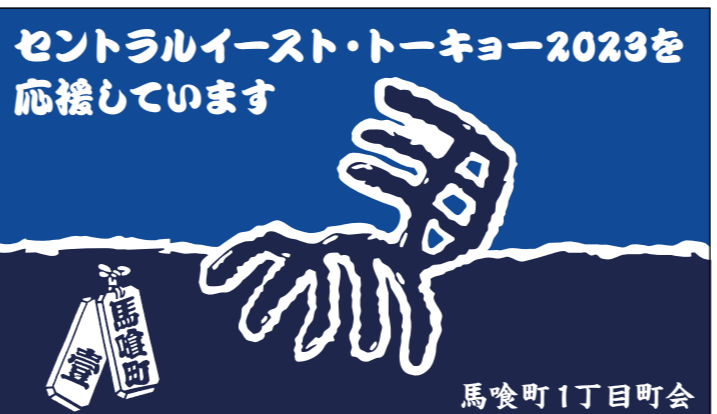
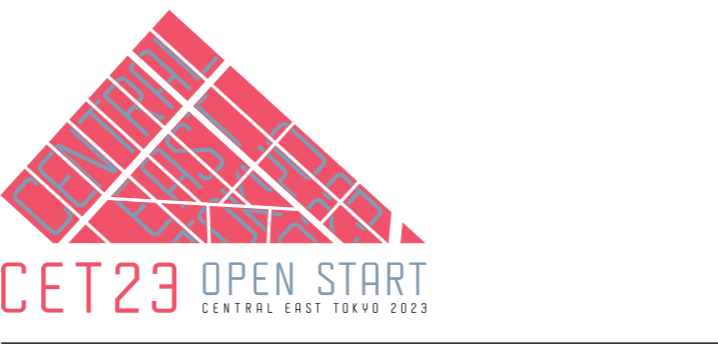


SCHEDULE 会場スケジュール

MAP	会場名	作家名	10.23	11.05
1	エトワール海渡 リビング館 千代田区東神田1-15-15	4F 佐藤 直樹 入口横 グランドレベル(田中 元子) 4F カガリユウスケ	9.23	
2	エトワール海渡 ショールーム館 中央区日本橋横山町7	2F suzueri(すずえり). gift 2F Photophone - 光を聴く装置をつくらう 1F TMPR 1F ただ		10.28/29
3	SANGO 中央区日本橋馬喰町1-6-15	柳澤 貴彦		
4	ソラビル 中央区日本橋横山町6-5	富川 浩史、日山 豪、AISO		
5	+PLUS LOBBY日本橋問屋街 中央区日本橋横山町6-14	N/A(石川 由佳子+金岡 大輝)	10.22	
6	大原第五ビル 中央区日本橋横山町4-10	1F THE BURGER SHOP 馬喰町 野老 朝雄、小林 泰聡 2F(階段室) 沈み/shizumi 4F-RF(階段室) 四方 謙一		
7	birthビル 中央区日本橋横山町4-9	RF 金井 聡一郎		
8	日本橋横山町スクエア 中央区日本橋横山町4-7	津村 耕祐		
9	男子寮 千代田区東神田1-3-13	宇治野 宗輝		
10	泰岳ビル 102 千代田区東神田1-2-10	委細 昌嗣、渦波 大祐 CET Directors' TALK 2023 SOUNDS / NOISES 津田 貴司、松本 一哉	10.21	11.03
11	中川堂 外壁 千代田区東神田1-14-1	小川 敦生		11.04
12	鞍掛橋交差点	池田 晶紀		



協賛： 有限会社池忠 / 株式会社マンウ / 株式会社小宮商店 / フクモリ (K.K.H.K) / THE BURGER SHOP 馬喰町 / 株式会社細谷商店 / 日本洋装雑貨店 / 中庄株式会社 / 大原不動産株式会社 / 株式会社中川堂 / 北出食堂 / 株式会社中川ケミカル



東京の地場発する国際芸術祭 東京ビエンナーレ 2023 リンケージ つながりをつくる

https://CentralEastTokyo.com
Central East Tokyo 2023 実行委員会
 実行委員長：鳥山貴弘(日東タオル)
 池田史子(gift)、岩本唯史(水辺総研)、勝亦優祐(勝亦丸山建築計画)、唐品知浩(パンチワークス)、後藤寿和(gift)、佐藤直樹(TDB-CE/CET04-10プロデューサー)、シミズヨシユキ(TDB-CE/CET04-10 事務局長)、竹内昌義(みかんぐみ)、武田悠太(LOGS)、馬場正尊(OPEN A)、早川謙之助(エトワール海渡)、原田マハ(小説家)、古田裕(FULL DESIGN)
 協力：UR都市機構
 問い合わせ先：hello@CentralEastTokyo.com

東京の地場発する国際芸術祭 東京ビエンナーレ 2023
 リンケージ つながりをつくる
 主催：一般社団法人東京ビエンナーレ
 後援：千代田区、中央区、文京区、台東区 ほか
 助成：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京[芸術文化魅力創出助成]ほか
 補助事業：令和5年度日本博 2.0 事業(補助型)(独立行政法人日本芸術文化振興会/文化庁)



約20年前に開催された「Central East Tokyo / セントラルイースト・トーキョー(通称CET)」。「アート・デザイン・建築の複合イベント」「合法的占拠」と形容され今も語り継がれているこのムーブメントは、「CET10 / OPEN END」と題された2010年の活動を最後に一旦終了しました。が、そこからは多くのアーティストやクリエイターが巣立ち、現在に至るまで様々なプロジェクトが生み出され続けています。現在、当該エリアには新しい住民と事業者が増え、2000年代初頭に見られた都心部周辺地域の空洞化問題も解消したかに見えます。しかし「セントラルイースト・トーキョー」の中核をなした、横山町・馬喰町・東日本橋に股がる「問屋街」はこれから本格的な変化の季節を迎えることになるでしょう。そしていよいよ、どのような街にするのか、選ばなければならなくなります。そんな中、わたしたちは「OPEN START」をテーマにCETを再起動させることを思い立ちました。「使われていない空間や時間」をあらためて「未知なる資源」として見出すこと。それは関係の創出によって立ち上がってきたこの街のDNAに刻まれた元来の特質でもあります。場とアーティストのマッチング。それは「アート」「デザイン」「建築」といった、それぞれのジャンルに相応しく設計/展示された「作品」のためのものであることよりも、場と人との関係を変化させる想像=創造を呼び込む仕掛けとしてあります。「CET23 / OPEN START」の名のもとに集結した個々のチャレンジの姿を目撃すると共に、ぜひ、あなた自身の体験として「未知なる資源」を発見しに訪れてみてください。

2023
09.23—11.05
10.23—11.05
 会期は個別企画ごとに設定されています。詳細はウェブサイトでご確認ください。

東京ビエンナーレ2023 有料会場 エトワール海渡リビング館4F 佐藤 直樹 その後の「そこで生えている。」2014-2023
 Central East Tokyo 2023 エキシビジョン
 詳細はウェブサイトでご確認ください。



https://CentralEastTokyo.com

EXHIBITION 展示

エトワール海渡 リビング館



09.23 - 11.05 11:00-18:00

4F

佐藤 直樹

その後の「そこで生えている。」
2014-2023

2014年に制作をスタートさせた(その後の「そこで生えている。」が10年目を前にしたところで300メートル幅に達しようとしていた。建築素材であるタテ1.825mmヨコ915mmのアルミ板を横に繋ぎながら、木炭のみで描き進めてきたもの。描く場所を求めて彷徨いながら、その場所の場に出会った自然のモチーフを写し取っている。

Profile 1961年、東京生まれ。北海道教育大学卒業後、信州大学で教育社会学・言語社会学を学ぶ。美学校菊岡或久美術教室で修了。2003~10年、「セントラル・イースト東京」プロデュース。2010年、「アーツ千代田 3331」立ち上げに参加。(トランス)東京を舞台に絵画制作へと重心を移す。サンフランシスコ近代美術館「パーマスト」コレクションほか国内外で受賞多数。多摩美術大学教授。

10.23 - 11.05 11:00-18:00

入口横



グランドレベル (田中 元子)

Tokyo Bench Project 2023

「日常のまち、まちの1階に人が居る光景をつくる」をテーマにした活動をすると「TOKYO BENCH PROJECT」では、東京の風景を一変させます。ベンチを置くことで、エリア帯の回遊性を高め、日常的な賑わいの光景をつくり、人々の消費行動へ健康度、コミュニティ醸成を押し上げるプロジェクトです。協力:アクピ化学工業株式会社

Profile 「「座つたりはまづくり」という考え方のもと、その座場に住まう人々が、まちの小さな生体になれるような座つくりを手がけている。建物「インテリア:外観などの「ハード」、何を提供し、何が許されるかという「ソフト」、心に寄り添い、人を突き動かす「コミュニケーション」を一体化してデザインし、その建築や施設、そこに暮らす人々やまち全体が、よりアクティブなものと成長していく「1階づくり」を行っている。」http://gievel.jp/

エトワール海渡 ショールーム館



10.23 - 11.05 常時鑑賞可

1F

ただ

誰かが置いた 料亭や小料理屋さんの店先に盛り皿が置かれていられるを見たことあるだろう。浄化の意味を持つ皿を円錐や多角錐の形に形成し、軒先や玄関などに置く古來からの風習で、厄除けやけいんかつなどの目的で設置されているのはご存知の通

りだが、ある特定の人はそういうたまたまいとは別の視点で眺めているという話を聞いたことがある。特定の人たちとは、そのお店に通う常連の旦那様やお得意さまのごことで、彼らにしては盛り皿とはそのお店の店主やスタッフの事を思い出す装置になるらしい。雨や風で吹き飛ばされざれやすい皿だからこそ、綺麗に形成された皿のオブジェは、一瞬間かけたという誰かの行為がそのもの表れである。人の気配を存分にまごった盛り皿は、上得意のお客さんたちにとって、「おかささん、今日も元気なやってくるんだ」と思われる仕掛けであり、そこから転じて「また願出さなきゃな」とお店への再訪を意欲するのだという。この写真に映るのは、「誰かが置いた桶木鉢」である。まじないの意味は一切ないものの、建物外部の開かれた場所に置かれた植物は、必然的に通行人の目にとまる。その「誰か」とは想像しようもない。桶木鉢を置いた本人としてもただ植物が好きでだけ見てあげることが意識していないかもしれない。それでもっと寡もふた寡もある桶木鉢の配置や植物の選び方を含めると、決してそのごとのできないその建物の内側が、なんとなくしみ出してくれているように感じられる。伝統的な日本家庭ではプライバシー空間を紙でできた扉で仕切り、鍵すらない。そんな暖かいウチとソとの関係が、なんとなく路傍の桶木鉢が立ち昇ってくるようにも思えるのだ。

10.23 - 11.05 17:30-20:00

3F



池田 光宏

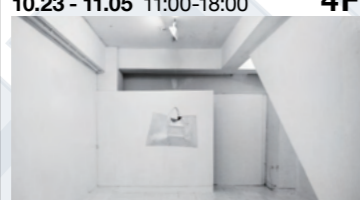
by the Window CET2023.v

ビデオプロジェクションによる実験。

Profile 1994年日本大学芸術学部卒業。1997年東京芸術大学大学院美術研究科修了。2008年文化庁新選芸術海外研修制度にてフェリス学院に派遣。(近年の主な展覧会)2012年(六本木アートナイト)2012日本美術展 webなど商業写真工場で幅広く活動する一方、並行して「都市」プロジェクト写真展「其のものをテーマとした作品制作を続けている。いて座A型。

10.23 - 11.05 11:00-18:00

1F



TMPR

TMPRの実験室

ここはTMPRの実験室です。TMPRは人工知能とかポラリズムとか位置情報とか木工とかデザインとか日記とかロボトリアームとか、あの手この手を使って「ちょっと変わった移動体験」をつくるチームです。で、それをどうやってつくるかというところで、会議と開発と実験をこの部屋でやっています。つまり絵巻制作中。見学したい方はぜひどうぞ。ちなみにTMPR読み方は「[Reform]. カメラを用いて街への視点をかまぼにした[virtual wall]。革に遊ばし加工を施した[skin]など。

Profile TMPR(若狭兄弟+増川淳一+藤+山本+中田+倉)は建築設計空間デザインユニット。若狭兄弟、プロダクティブ/アルミクックデザイナー・堀川謙一、グラフィックデザイナー・山本天音、コミュニケーションプランナー・中田一由による協働チーム。Tokyo Moving Point Researchersの略。読み方は「てんぶら」。

10.23 - 11.05 11:00-18:00

2F



suzueri (すずえり)、gift

From Island to Island

サウンド・アーティスト/即興演奏家 suzueri (すずえり) による展示。ポスト・コロナ後、2022年後半から2023年まで、5カ国を旅してきた彼女による、移動と音の記録です。東・東京、隅田川の力モを含む、各国の鳥の群れを譜面とした自動演奏装置「小鳥たちのために/鳥の記譜法」、旅先で拾った集めた小さな物たちで作られたサウンド・オブジェの展示などを行います。

Profile suzueri (すずえり) サウンド・アーティスト/即興演奏家。ピアノと自作楽器を組み合わせた、回りくどく薄ら書きのない感じの演奏や展示を行う。気にかけているのを見たことあるだろう。浄化の意味を持つ皿を円錐や多角錐の形に形成し、軒先や玄関などに置く古來からの風習で、厄除けやけいんかつなどの目的で設置されているのはご存知の通

ソラビル



10.23 - 11.05 13:00-18:00

富川 浩史、小田 豪、AISO

問屋の街の小さな階段 回廊を再生した内部空間の公開。AISOを用いた階段空間を抜けて街の上部へとアップリチする空間体験。

Profile 富川 浩史:1976年東京・品川区生まれ。2001年武蔵工業大学(現東京都市大学)大学院修士課程修了。2001-2004年手塚貴晴手塚由比手塚手塚建築研究所。2005年建築設計富川浩史・SIESTA設立。東日本橋へ移す。2007年~建築設計小田富川共同設立。2009年~合同会社富川浩史建築設計事務所へ改組。同社代表社員。2013年~東京都市大学建築学科非常勤講師。

Profile 富川 浩史:1976年東京生まれ。幼少時より建築を学ぶ。江崎誠に師事。2001年9月11日より「つなげごと」を中心にした共同プロジェクト「Bergheim | Treasury」を含む10カ所をコアとするサウンドデザイン会社エコーシステムを設立。中井政七商店 店長BGM、FUJITECエレベータープロダクツサウンド、住友化学SYNERGYCAI空間サウンドデザインなどを手がける。自主活動として、自動BGM構築システム(AISO)、音×露の磁場ブランド「モトノ」がある。

AISO:株式会社エコーシステムが開発、運営する自動音楽構築システムです。小さな「音」のカタチをプログラムがリアルタイムでクラウド上に構築し、届けることで、「誰でもどこでも」気軽に音楽を実現します。「音のカタチは、建築家によってひとつひとつ丁寧にデザインされています。

10.23 - 11.05 11:00 - 18:00

2F (階段室)



10.22 - 11.05 11:00-17:00



N/A (石川 由佳子+金岡 大輝)

Tiny Mud Park 都市の隙間空間の活用方法のオルタナティブとして、大地とのつながりを感じられるような、五感を豊かにする、マイクログラウンドの都市型ざらんどを複数に於ける。協力:小島理恵(株式会社Q-GARDEN 代表取締役)

10.22 Workshop(13:00-16:00) 今回の展示作品であるところを子どもたちと遊んでもらう会です。時間内であれば、出入り自由・無料です。対象:こどもも遊び心のある大人

Profile 石川 由佳子:アーバンエリート一般社団法人 for Cities共同代表理事。「自分たちの手で、都市を使いこなす」ことをモットーに、国内外のさまざまな都市に「よそ者」として介入し市民主体の小さな活動を企てていく、都市実験のデザインスタジオ「for Cities」を立ち上げ、世界中のアーバンエリートのプラットフォーム「forcities.org」や学びの場「Urban School」を運営。

Profile 2017年、デザイナー伊藤晃俊が立ち上げる。一途一歩手始め「ペイント」を軸にしたブランドコンセプト「無名をまとう」のもとに、静寂さの中で構築する 感傷を表現。2018年12月、伊藤晃俊が移住。活動の一環として抽象画をはじめ、同時に人間観察や賞品の画に衝撃を受け制作を始める。同時にネオダダやニューイベントングに影響を受け独学で現代アートの歴史を学ぶ。

大原第五ビル



10.23 - 11.05 平日11:00-21:00 / 日祝11:00-18:00

1F THE BURGER SHOP 馬喰町

Profile 野老 朝雄:1969年、東京生まれ。幼少時より建築を学ぶ。江崎誠に師事。2001年9月11日より「つなげごと」を中心にした共同プロジェクト「Bergheim | Treasury」を含む10カ所をコアとするサウンドデザイン会社エコーシステムを設立。中井政七商店 店長BGM、FUJITECエレベータープロダクツサウンド、住友化学SYNERGYCAI空間サウンドデザインなどを手がける。自主活動として、自動BGM構築システム(AISO)、音×露の磁場ブランド「モトノ」がある。

AISO:株式会社エコーシステムが開発、運営する自動音楽構築システムです。小さな「音」のカタチをプログラムがリアルタイムでクラウド上に構築し、届けることで、「誰でもどこでも」気軽に音楽を実現します。「音のカタチは、建築家によってひとつひとつ丁寧にデザインされています。

10.23 - 11.05 11:00 - 18:00

2F (階段室)



10.23 - 11.05 9:00-21:00

RF

10.21 - 11.05 11:00-18:00 10.21/10.28 - 20:00 11.3 - 17:00 / 11.4 - 15:00

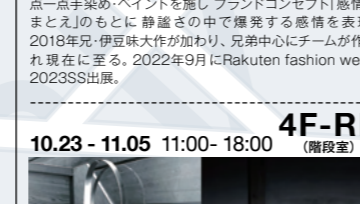
10.21 - 11.05 11:00-18:00

10.21/10.28 - 20:00 11.3 - 17:00 / 11.4 - 15:00

10.21 - 11.05 11:00-18:00 10.21/10.28 - 20:00 11.3 - 17:00 / 11.4 - 15:00

10.23 - 11.05 11:00-18:00

4F-RF (階段室)



10.23 - 11.05 11:00-18:00

4F-RF (階段室)

四方 謙一

be in between

それぞれの間に在るかたちはどんなだろうか? この作品の2つのコンクリートの塊の間在るかたちは、この建物の階段に居場所を探しながらこの場所と関わり、様々な姿を見せる。この建物に入ると、街から建前に意識が移るが、階段を上りながら、窓を介して外を見るまでと意識は傾く。街と繋がるようにも、一瞬遮れるようにも。上階が近づくに連れて、交互に現れるその2つの意識が徐々に強く交差していくように感じた。その後、外に出ると最初は意識していなかった意の内側が気になりだした。上階へ進む行為とその体験、物理的な変化が、建物の内外の関係、さらには建物と大原第五ビルの間にもいくつものかたちを生じたのだ。この建物の間における階段は上下階や各戸を接続させるのももちろん、建物と街の意味的な境界という間(はざま)でもある。だが階段に置かれていく作品たちが、屋外から見えてきたり、建築が視点を重ねた様子を見え残す階段と手摺りの横になることでこの場所に介した立ちは、そもそも建物の機能としての在り方とは別に、この場所の互いの関係に真なる構想をもちあがっている。作品と建物との間のかたちは、確実に他の在り方にも影響を与えながらその状況は変化し、連鎖している。この街の中でも、誰かと誰か、何かと何か、のようなミクロな関係からみえてくる無数の「かたち」は互いの間に在る「かたち」と影響し合いながら、この場所をかたちづいていく。街に在る建物や人、それらの状況の移り変わりで、互いに関わりそして繋がりながら様々なかたちは生まれ、それは今のこの街となるのだ。 協力企業:株式会社かねよし

Profile 早稲田大学芸術学校で建築を学び、在学時より野老朝雄氏に師事。幾何学や素材の特性、取り巻く環境の中で、主に彫刻やインスタレーション、写真などを制作。様々なスケールで、自然、建物や都市、社会活動などの関わりや繋がりやを考察しながら、それぞれのかたちについて考えたい。奥能登国際芸術祭、UBEビエンナーレなどの芸術祭への出演、またMIYASHITA PARK、大阪国際空港などの常設作品も多数手掛ける。

birthビル

10.23 - 11.05 11:00-18:00

10.23 - 11.05 11:00-18:00

10.23 - 11.05 11:00-18:00

10.23 - 11.05 11:00-18:00

10.23 - 11.05 11:00-18:00

10.23 - 11.05 11:00-18:00

10.23 - 11.05 11:00-18:00

10.23 - 11.05 11:00-18:00

10.23 - 11.05 11:00-18:00

10.23 - 11.05 11:00-18:00

10.23 - 11.05 11:00-18:00

10.23 - 11.05 11:00-18:00

10.23 - 11.05 11:00-18:00

10.23 - 11.05 11:00-18:00

10.23 - 11.05 11:00-18:00

10.23 - 11.05 11:00-18:00

10.23 - 11.05 11:00-18:00

10.23 - 11.05 11:00-18:00

10.23 - 11.05 11:00-18:00

10.23 - 11.05 11:00-18:00

10.23 - 11.05 11:00-18:00

10.23 - 11.05 11:00-18:00

10.23 - 11.05 11:00-18:00

10.23 - 11.05 11:00-18:00

10.23 - 11.05 11:00-18:00

10.23 - 11.05 11:00-18:00

日本橋横山町スクエア



10.23 - 11.05 10:00-18:00

津村 耕佑

夢夢神社 願いは掛ける対象がある事で意識されます。それは希望となり生きる糧となります。夢夢神社は人々の希望を掛ける神ではないかという考えが創始した移動式「フェリス」発信装置といえます。夢と同数の神に届けられる為新旧大小混在した柱が支柱の四方に用いられる。人々の夢を思い出し願いを鈴音と共に空間に解き放ちます。

Profile 1989年より住宅デザイン事務所所属し住宅一生涯の下主によりレゾナンスに関わる。1992年ジャック全体を取壊すことで活用したウエー FINAL HOMEを考案する。1994年ファッションブランドKOSU KE TSUMURA及びFINAL HOMEを(株)A-netからスタート。パリ、ロンドン、東京でコレクションを発表。2015年独立。FINAL HOME project活動。

男子寮



10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00

10.23 - 11.05 13:00-15:00 16:00-18:00